



Manual & User Guide

FluorPen E-FP 110 Series

PAR FluorPen E-FP 110 Series



FluorPen E-FP 110 Series



PAR FluorPen E-FP110 Series

Copyright 1999 - 2021 Environmental Measurement Japan.

本日本語マニュアルは弊社取扱機器メーカーの承諾を受けた上で、日本環境計測株式会社が作成しました。
商用目的の範囲における無許可の転載、複製、転用等のご遠慮ください。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844



PAR E-FP110 & E-FP110 仕様

パラメーター	
PAR FluorPen E-FP 110	• Ft (暗順応時: $F_t=F_0$) • QY: 量子収率(暗順応時: $QY=F_v/F_m$; 光順応時: $QY=F_v'/F_m'$) • OJIP • NPQ (Non-photochemical quenching) • Light curve • PAR (Photosynthetically Active Radiation ; Measured as PPFD)
FluorPen E-FP 110	• Ft (暗順応時: $F_t=F_0$) • QY: 量子収率(暗順応時: $QY=F_v/F_m$; 光順応時: $QY=F_v'/F_m'$) • OJIP • NPQ(Non-photochemical quenching) • Light curve
LED	
LED エミッター	青 (470 nm) オプションで色の変更可能
飽和光	10～100 %で調節可能 (最大3,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$)
アクチニックライト	10～1,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$ で調節可能
測定光	0～100 %で調節可能 (最大0.09 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$ per pulse)
ディテクター	
Type	PIN フォトダイオード + バンドパスフィルター
受光波長	665 ～ 750 nm
データ保存・通信	
メモリ容量	最大16Mb
インターナルデータロギング	最大149,000 データ
通信	USBケーブル / bluetooth
電池寿命	フル稼働で48時間(使用法によって異なります)/バッテリー残量ゲージ付き
その他	
サンプルホルダー	• 標準リーフクリップ (型番: E-FP 110/S, PAR E-FP 110/S) • 取り外し可能リーフクリップ (型番: E-FP110/D, PAR E-FP 110/D) • プローブ(型番: E-FP110/P, PAR E-FP 110/P)
ディスプレイ	グラフィックディスプレイ
操作方法	ボタン2つで操作 (SET、MENUボタン)
サイズ	134 x 65 x 33 mm
重量	188 g
使用環境	気温: 0 ～ +55 °C 相対湿度: 0 ～ 95 % (結露なきよう)
保管環境	気温: -10 ～ +60 °C 相対湿度: 0 ～ 95 % (結露なきよう)
ソフトウェア	FluorPen 1.1 (対応OS: Windows 7 もしくはそれ以降)
付属品	
• PAR E-FP 110もしくはE-FP110本体 • 携帯ケース • USBメモリ: USBフォルダ内にマニュアル, Softwareドライバーが入っています。 • USBケーブル: データ通信、充電、常時電源ケーブルとして機能します。	

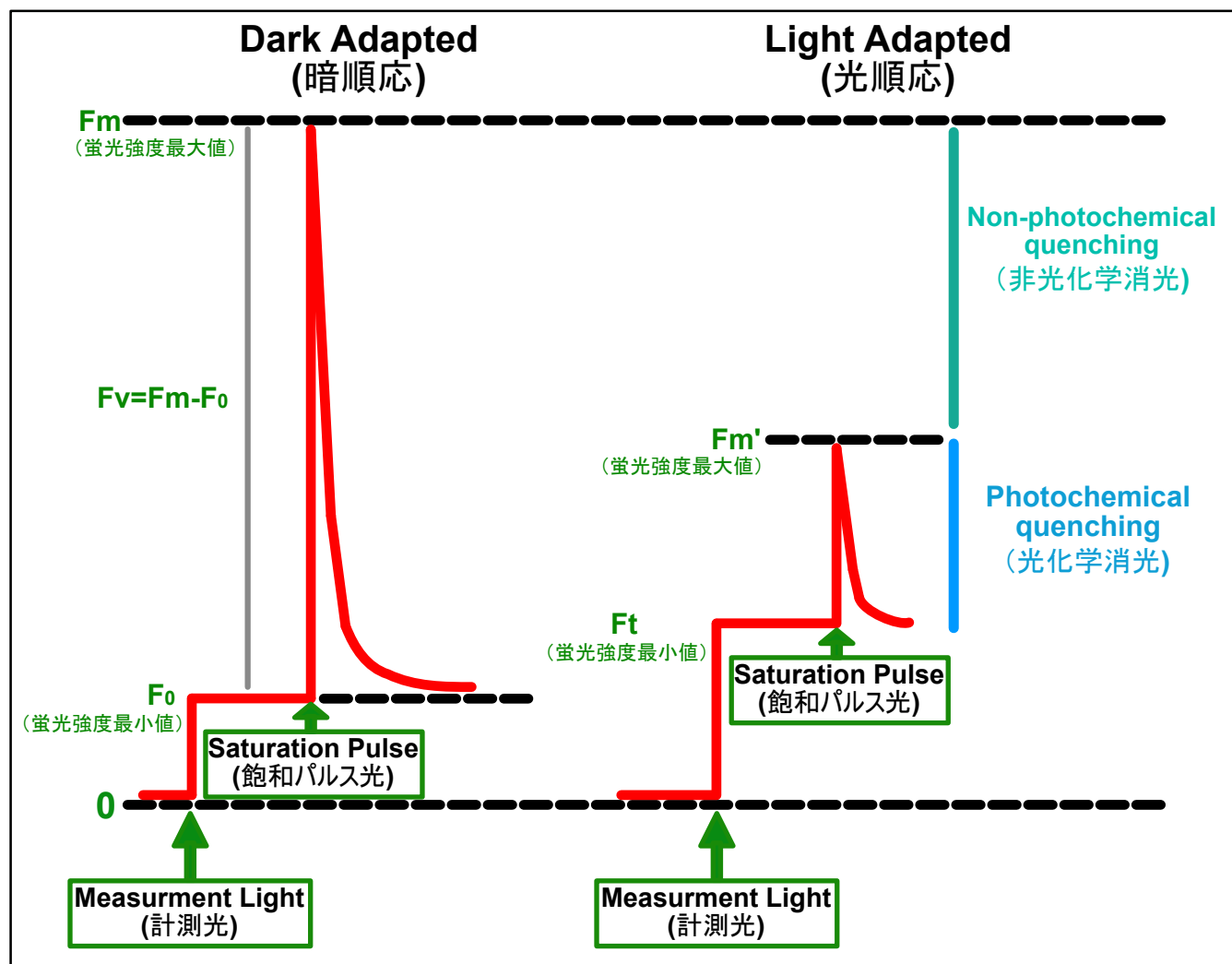


Environmental Measurement Japan
 日本環境計測株式会社
 〒811-0215
 福岡県高美台二丁目52番42号
 TEL:092-608-6412
 FAX:092-985-7844



計測原理

・LEDエミッターから青(470nm)を葉に当てクロロフィル蛍光の値(665～750nm範囲)をディテクターが検出しFVとして認識します。



PAR E-FP110 & E-FP110 比較

PAR E-FP110とE-FP110の違いはPARセンサーの有無のみ

PAR E-FP110



リーフクリップ: 取り外し可能クリップ



Light adapted(光順応)

Dark adapted(暗順応)

E-FP110



FluorPen 使用方法

FluorPenはリチウム電池を使用しています。使用前にPCに繋げるか、USB (TypeA) ACアダプターで充電して下さい。
(本製品にはUSB ACアダプターは付属されておりません。)

FluorPenの操作は本体にあるMENUキーとSETキーのみで行います。

MENUキー

- ・ディスプレイ上の項目をスクロールする役割
- ・電源OFF (1秒長押し)

SETキー

- ・項目選択(選択項目の横にカーソル(>)が表示されます)
- ・電源ON (1秒長押し)

Pulse設定

Flash Pulse

蛍光強度最小値(F_0 , F_i)を計測するために使用します。

設定: 0~100 %の調節可能 (最大0.09 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$ per pulse)

Super Pulse

蛍光強度最大値(F_m , F_m')を計測するために使用します。

設定: 10~100 %の調節可能 (最大3,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$)

Actinic Pulse

測定光強度を設定するために使用します。

設定: 10~1,000 $\mu\text{mol}(\text{photon}).\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$ に調節可能

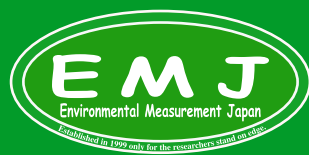
計測パラメーター	使用パルス
F_t	Flash Pulse
QY	Flash Pulse, Super Pulse
OJIP	Super Pulse
NPQ	Flash Pulse, Super Pulse, Actinic Pulse
Light Curve	Flash Pulse, Super Pulse, Actinic Pulse (Actinic Pulse: 予め設定されておりユーザーでの設定不可)

デフォルト設定(PSI社お勧めの設定): 設定はユーザーにて任意で変更して下さい。

Flash pulse	30 %
Super pulse	80 %
Actinic pulse	300 $\mu\text{mol}.\text{m}^{-2}.\text{s}^{-1}$ (30 %)

デフォルト設定変更時の**注意点**

- ・Flash pulse, Super pulseを調整する場合、必ずDark adapted(暗順応)で行ってください。
- ・一度使用したサンプルでも挟む場所を変えて再度パルス調節を行ってください。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844



計測

- 本器は校正等の面倒な作業は必要はございません。ただし、ユーザーにて必要があれば設定を変事が可能です。
1. サンプルを準備し最低でも10~15分Dark adapted(暗順応)で放置してください。(Fo, QY(Fv/Fm), NPQ, LCを計測するのに必要な工程です。)
 - ・E-FP110/D もしくはPAR E-FP110/Dではリーフクリップを使い暗処理が可能になります。そのほかのE-FPシリーズはユーザにて暗処理可能な環境を準備していただく事になります。
 - ・Light Adapted (光順応)で計測を実施する場合はサンプルの暗処理をする必要はありません。
 2. SETボタンを1秒間押し続け本器の電源をONにします。
 3. 暗処理済みのサンプルをリーフクリップに挟みます。
 4. MENUボタンを押しMeasureをSETボタンを押して選択。選択後MENUボタンで計測したいパラメータまでカーソル(>)を合わせSETボタンで確定し測定開始します。
 - ・OJIP, Light Curve, NPQを計測中もしくはリーフクリップで挟んだ状態をキープし暗処理します。
 - ・計測結果の表示: FtやQY(Fv/Fm)は本器ディスプレイに表示されます。OJIP, Light Curve, NPQの演算結果はPCにデータ取込をしない限り見ることはできません。
 - ・全ての計測結果をご覧になる場合は、必ず本器に保存されたデータをPCへ取込して確認して下さい。

OJIP

OJIPとは蛍光パラメーターの頭文字から引用されていて、F₀ (O)、F_m(P)、F_i(S)、J (2ms)、I (30ms) のポイントで計測しているという意味です。
O→F₀、J→照射後2ms、I→照射後30ms、P→F_mを指します。
OJIP計測に使用されているパラメーターは以下の通りです。

略称	詳細
Bckg	Background (バックグラウンド)
F ₀	F _{50μs} : 50μsでの蛍光強度
F _J	Jステップでの蛍光強度(at 2ms)
F _i	iステップでの蛍光強度(at 30ms)
F _m	蛍光強度最大値
F _v	F _m - F ₀ (蛍光強度最大値 - 蛍光強度最小値)
V _J	(F _J - F ₀) / (F _m - F ₀)
V _i	(F _i - F ₀) / (F _m - F ₀)
F _m /F ₀	
F _v /F ₀	
F _v /F _m	
M ₀ or (dV/dt) ₀	M ₀ = TR ₀ / RC - ET ₀ / RC = 4 (F ₃₀₀ - F ₀) / (F _m - F ₀)
Area	蛍光曲線とF _m の間のエリア(バックグラウンドは差し引)
Fix Area	蛍光曲線より下のF _{40μs} とF _{1s} の間のエリア(バックグラウンドは差し引)
S _M	Area / (F _m - F ₀) (multiple turn-over)
S _s	Smallest S _M turn-over (single turn-over)
N	S _M . M ₀ . (1 / V _J) turn-over number QA
Phi_P ₀	1 - (F ₀ / F _m) (or F _v / F _m)
Psi_o	1 - V _J
Phi_E ₀	(1 - (F ₀ / F _m)) . Psi_o
Phi_Do	1 - Phi_P ₀ = (F ₀ / F _m)
Phi_Pav	Phi_P ₀ (S _M / t _{FM}) t _{FM} = time to reach F _m (in ms)
ABS / RC	M ₀ . (1 / V _J) . (1 / Phi_P ₀)
TR ₀ / RC	M ₀ . (1 / V _J)
ET ₀ / RC	M ₀ . (1 / V _J) . Psi_o
Dl ₀ / RC	(ABS / RC) - (TR ₀ / RC)

Formulas Derived From:
R.J. Strasser, A. Srivastava and M. Tsimilli-Michael (2000): The fluorescence transient as a tool to characterize and screen photosynthetic samples. In: Probing Photosynthesis: Mechanism, Regulation and Adaptation (M. Yunus, U. Pathre and P. Mohanty, eds.), Taylor and Francis, UK, Chapter 25, pp 445-483.

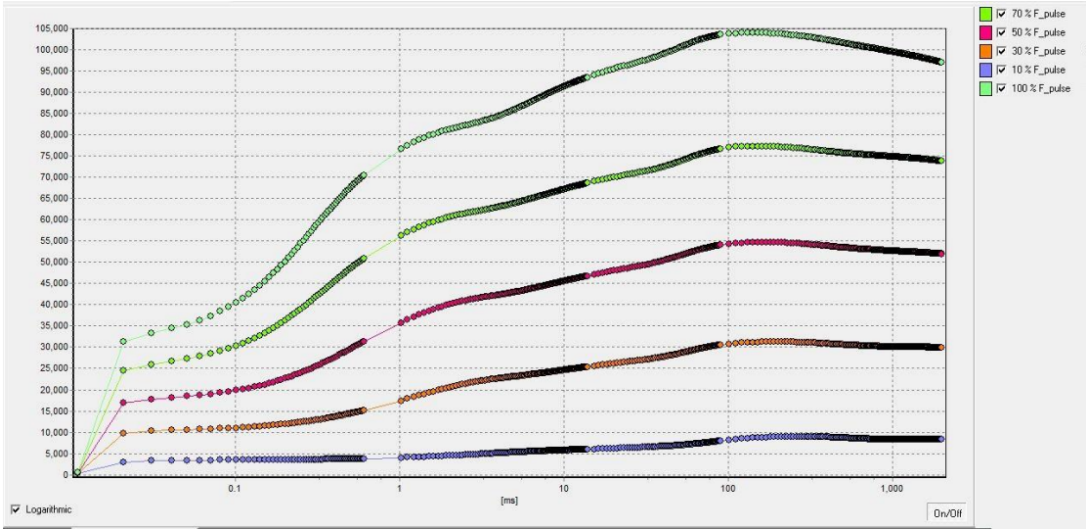
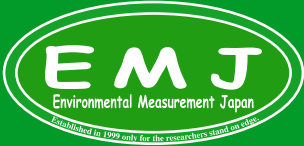


図1. 異なるSuper pulse設定でのOJIP計測

80
8:42:40 22.1.2019
OJIP
Bckg 357
Fo 6405
Fj 10956
Fi 19637
Fm 28220
Fv 21815
Vj 0.209
Vi 0.607
Fm/Fo 4.406
Fv/Fo 3.406
Fv/Fm 0.773
Mo 0.155
Area 10680744
Fix Area 26970048
HACH Are 20565304
Sm 489.605
Ss 1.346
N 363.627
Phi_Po 0.773
Psi_o 0.791
Phi_Eo 0.612
Phi_Do 0.227
Phi_Pav 919.490
Pi_Abs 13.448
ABS/RC 0.961
TRo/RC 0.743
ETo/RC 0.588
DlIo/RC 0.218
FLASH
[nm] 455
[%] 30
[uE] -NAN
SUPER
[nm] 455
[%] 20
[uE] -NAN
...
20% F_pulse

図2.Super pulse20%設定でのOJIP計測結果



Environmental Measurement Japan
日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



NPQ(非光化学消光)

本器でのNPQの測定は、最初にサンプルを暗所でF0とFmを測定します。その後、Actinic pulseを使用し、Light adapted (光順応)で連続的にFm'を測定します。3つのpredefined NPQが選択可能です。

以下の違いはLight exposure time(露光時間)とDark recovery(暗処理からの復帰時間)です。

- NPQ1
- NPQ2
- NPQ3

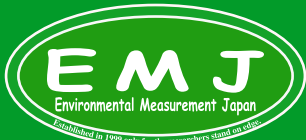
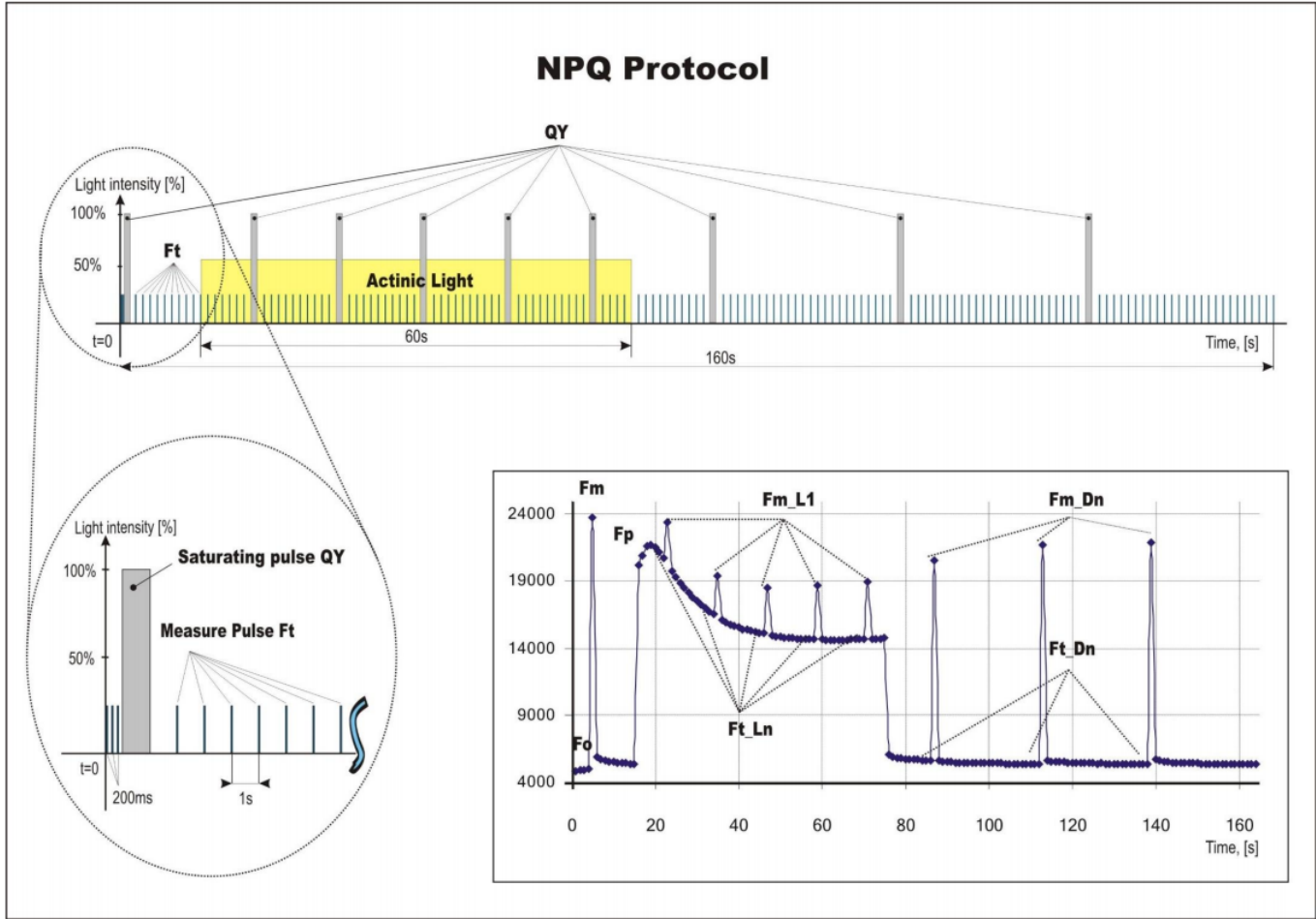
	Phase	Duration	# of pulses	1st pulse	Pulse interval
NPQ1	Light	60 s	5	7 s	12 s
	Dark recovery	88 s	3	11 s	26 s
NPQ2	Light	200 s	10	10 s	20 s
	Dark recovery	390 s	7	20 s	60 s
NPQ3	Light	200 s	10	11 s	21 s
	Dark recovery	60 s	2	20 s	21 s

表1. NPQ protocols

略称	詳細
F ₀	蛍光強度最小値 (暗順応の時)
F _m	蛍光強度最大値 (暗順応の時; 初回飽和光での計測値)
F _p	蛍光強度のピーク (fast of Kautsky induction)
F _m _Ln, Lss, D, Dn ¹	蛍光強度最大値
QYmax ²	PSIIでのF _v /F _m
QY_Ln, Lss, D, Dn ^{1,3}	PSIIでの有効量子収率
NPQ_Ln, Lss, D, Dn ^{1,4}	非光化学消光
Qp_Ln, Lss, D, Dn ^{1,5}	光化学消光係数

- 1 L: Light adapted (光順応) parameters; D: アクテック消灯後にパルスを照射した時の反応値; n: 光順応の回数; ss : steady state(定常状態)
2 (F_m – F₀) / F_m
3 (F_m_Ln – F_t_Ln) / F_m_Ln
4 (F_m – F_m_Ln) / F_m_Ln or of corresponding ss, Dn or Dss parameters
5 (F_m_Ln – F_t_Ln) / (F_m_Ln – F₀_Ln) ; F₀_Ln : F₀ / ((F_m – F₀) / F_m + F₀ / F_m_Ln).

リファレンス:
Oxborough K., Baker N.R. (1997): Resolving chlorophyll a fluorescence images of photosynthetic efficiency into photochemical and non-photochemical components: calculation of qP and Fv'/Fm' without measuring F0'. Photosynthesis Research 54: 135-142



Environmental Measurement Japan
日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県高美二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



Light Curve (LC)

Light Curve:光強度と光合成速度の関係曲線

計測方法はシンプルでパルス変調でサンプルに当てる光を段階的に強くして計測します。
本器では3つのLCが選択可能です。

これらの違いはLight exposure time(露光時間)とLight intensities(光強度)です。

- LC1
- LC2
- LC3

	# of phases	Phase duration	Light intensities [$\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{s}^{-1}$]
LC1	6	60s	10; 20; 50; 100; 300; 500
LC2	5	30s	100; 200; 300; 500; 1000
LC3	7	60s	10; 20; 50; 100; 300; 500; 1000

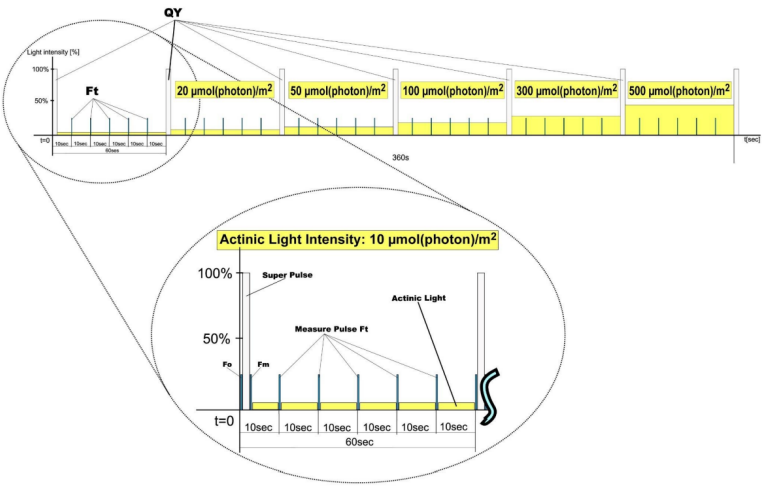
略称	詳細
F ₀	蛍光強度最小値 (Dark apapted(暗順応の時))
F _m	蛍光強度最大値 (Dark adapted (暗順応の時))
F _m _Ln [‡]	蛍光強度最大値 (Light adapted (光順応の時))
F _t _Ln [‡]	光順応時の瞬間蛍光
QYmax [*]	PSIIでのF _v /F _m (Dark apapted(暗順応の時))
QY_Ln ^{**}	瞬間的に光で誘導された PSII 量子収率

‡ n: 光順応の回数

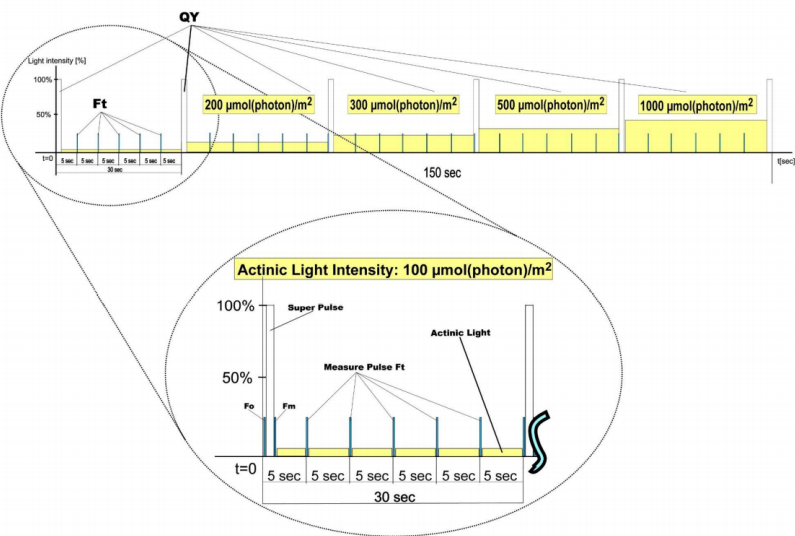
* (F_m - F₀) / F_m

** (F_m_Lx - F_t_Lx) / F_m_Lx

Light Curve 1 Protocol



Light Curve 2 Protocol



Environmental Measurment Japan
日本環境計測株式会社
〒811-0215
福岡県高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



Multiple Measurement

Multiple Measurement:同じパラメータを複数回計測するモード。

Multi type:計測したいパラメータを選択します。

Multi interval:インターバルの設定

Multi repeats:リポートする回数の設定

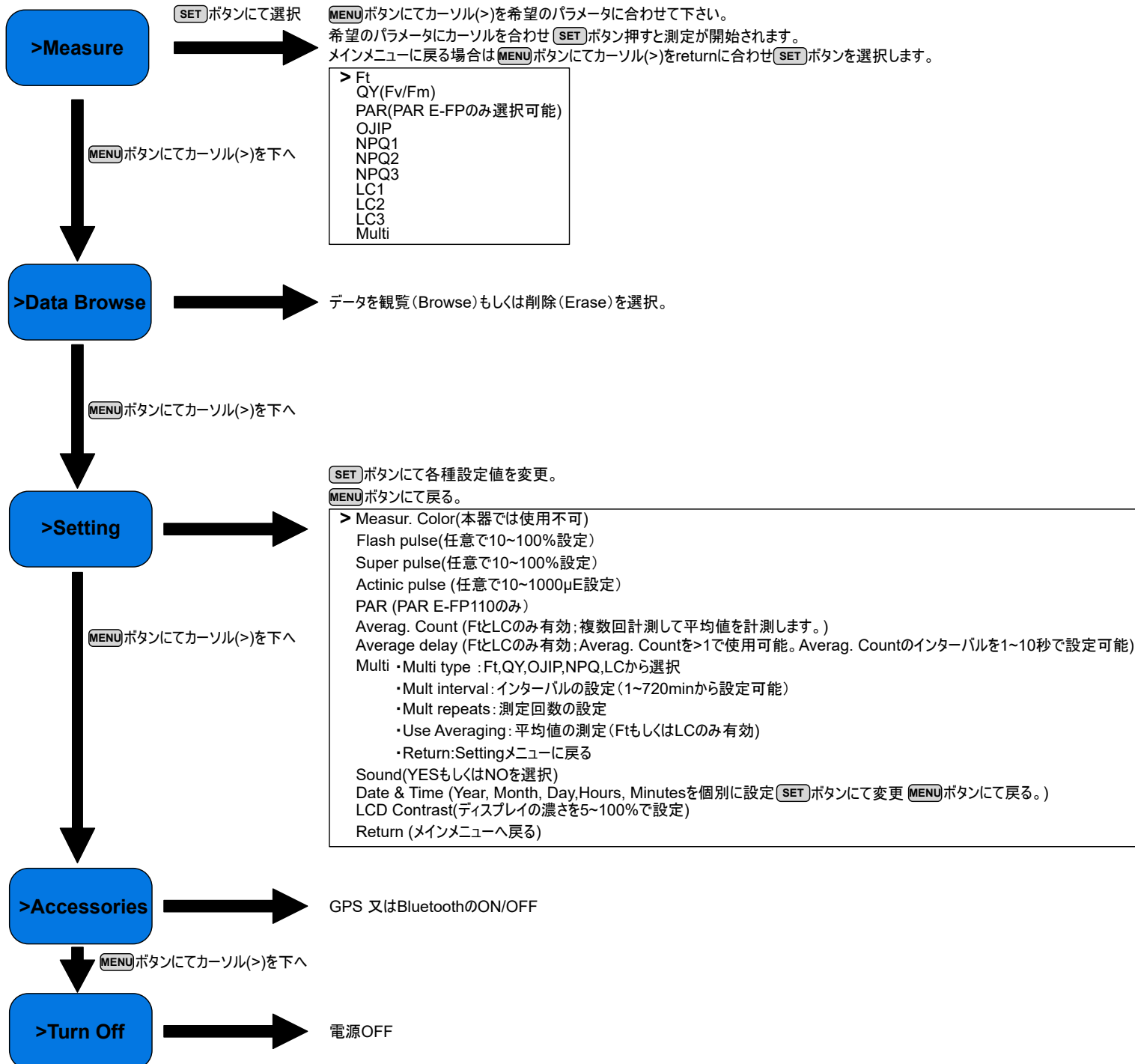
Multi Average:Multiモードで平均値を計測(有効なパラメータ:FとLCのみ)

- ・サンプルを準備します。
- ・メニューからMesurment→Multiを選択。
- ・SETボタンを押し確定し計測開始されます。
- ・計測値は計測が終わる度にディスプレイに表示され全ての計測結果は本器に保存されます。
ただし、パラメータがOJIP,NPQ,LC,のときは計測結果がディスプレイには表示されません。
OJIP,NPQ,LCの場合、PCへデータをダウンロードし計測結果をご覧くださいようお願いします。

本器単体またはPC接続の状態で計測している場合

- ・PCへ接続した状態での計測:計測インターバルに関係なく本器の電源がOFFになることはありません。
- ・本器単体での計測:電池消費を軽減するために計測していないときには電源がOFFになり計測時刻になると自動でONを繰り返します。
デバイスの"MENU"を手動で切り替えることによって中断されます。

FP110本体での各種設定方法



Environmental Mesurment Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844



Bluetooth接続

確認事項

- ・Bluetooth機能付きのPCをご準備ください
- ・BluetoothがPCと本器で起動していることを確認して下さい。

本器でのBluetooth設定

- ・本器のスイッチをONにして下さい(SETボタンを1秒間押す)。
- ・メインメニューからMENUボタンでAccessoriesへ移動しBluetoothをONにします。

PCでのBluetooth設定

- ・PCにより設定方法が異なる為ユーザーにて設定して下さい。

Software インストール

1. 購入時に付属するUSBメモリーに必要なファイルが全て入っています。まずUSBをPCに差し込みます。ファイルが3つ表示されます。SoftwareファイルをPCデスクトップにコピー＆ペーストしてください。

名前	更新日時	種類	サ
Software	2018/04/03 9:50	ファイル フォルダー	
USB Driver	2018/04/03 9:43	ファイル フォルダー	
User Guides	2018/06/14 9:27	ファイル フォルダー	

2. Software中にFluorPenとSN (シリアルナンバー)があります。FluorPenファイルの中にFluorPenソフトがありSNには個体識別番号が入っています。先程デスクトップにsoftwareファイルをコピーした中にSNファイルだけがなぜかコピーされない事がありますのでこちらもデスクトップにコピーしておきましょう。この作業が終わりましたらUSBは抜いて頂いて構いません。

名前	更新日時	種類	サイズ
FluorPen	2018/04/03 9:50	ファイル フォルダー	
SN	2018/07/02 9:00	テキストドキュメント	1 KB

3. ここからはデスクトップにコピーしたファイルでの操作になります。FluorPenファイルを開き「葉っぱマーク」のアイコン(アプリケーション)をクリックして下さい。クリックすると本体設定やデータ取り込みができる画面になります。

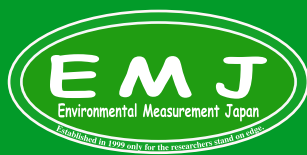
名前	更新日時	種類	サイズ
config	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
Image	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
protocols	2020/08/06 10:02	ファイル フォルダー	
FluorPen	2018/03/26 13:05	アプリケーション	2,602 KB

4. アプリケーション画面です。この時、本体はPCとはつながっていない状態でソフトウェアと本体の認識確認ができておりません。つまり操作できない状態です。本器をPCに接続しRegistor作業を行います。PCに接続する際、USBケーブルまたはBluetoothでの接続が可能です。USBケーブルの使い方は皆さまご存じだと思いますので、このマニュアルでは省略致します。



5. 本器をPCへ認識させるためRegistor作業を行います。本器をPCに繋げたらHelpを選択しRegistorを選択します。SN(シリアル番号)を入力します(コピペ可能)。

記載例:
FluorPen Serial Number: SN-FP-XXXYour
Serial Number: 2XX1X75X-0936XX1X-44XXX490-7522XX3X
Serial Numberを入力後にOKをクリックしインストールは完了です。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

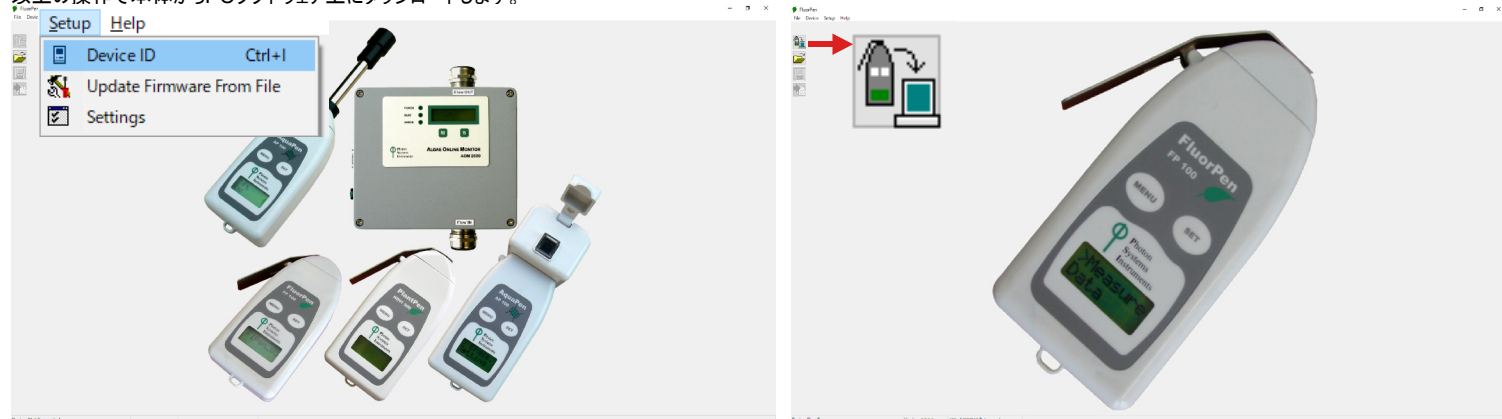
FAX:092-985-7844



データ移行

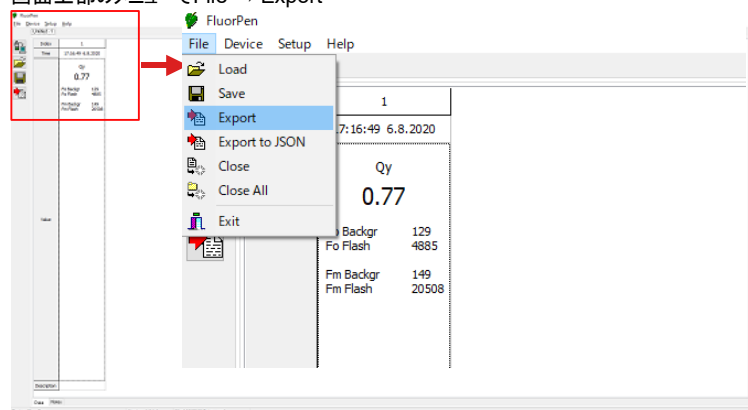
1.

計測完了後に本体をUSBケーブルまたはBluetoothでPCに接続します。Setup→DeviceIDで接続を確認し、赤い矢印のアイコンをクリックします。以上の操作で本体からPCソフトウェア上にダウンロードします。



2.

ダウンロードが終わると自動的に計測結果画面に切り替わります。この段階ではPC上にはまだ保存できていません。EXPORT機能を使いダウンロードします。画面上部のメニューでFile → Export



3.

デスクトップにエクスポートされたファイルはテキスト形式で保存されます。テキスト形式のままでは不便ですので、ExcelにドラッグしてExcelシートでを使用することをお勧めします。



FluorPen ASCII Export File								
File Name: Untitled - 2								
time	id	Fo Backgr	Fo Flash	Fm Backgr	Fm Flash	Qy	description	
21:36:59 12.3.2000	Qy	3500	3523	3266	3303	0.38		
21:37:03 12.3.2000	Qy	2754	2780	2531	2561	0.13		
21:37:21 12.3.2000	Qy	1894	5702	1934	18135	0.76		
21:37:30 12.3.2000	Qy	1714	7148	1734	16380	0.63		
14:31:55 6.8.2020	Qy	547	559	501	554	0.77		
14:32:21 6.8.2020	Qy	149	5294	169	18245	0.72		
14:32:40 6.8.2020	Qy	149	5184	169	18833	0.73		
14:38:09 6.8.2020	Qy	-1	-1	-1	-1	0		
14:39:19 6.8.2020	Qy	-1	-1	-1	-1	0		
14:46:17 6.8.2020	Qy	280	2023	328	6910	0.74		
14:50:23 6.8.2020	Qy	248	2189	284	7756	0.74		



Environmental Measurment Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美台二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

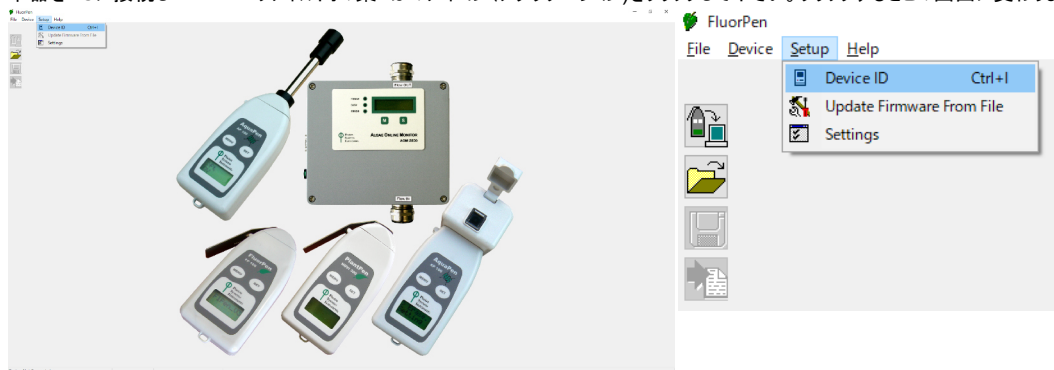
FAX:092-985-7844



PCでの設定

本器はボタンがMENUとSETボタンの2つしかない為操作は簡単ですがPCで設定をした方が早い事もあります。

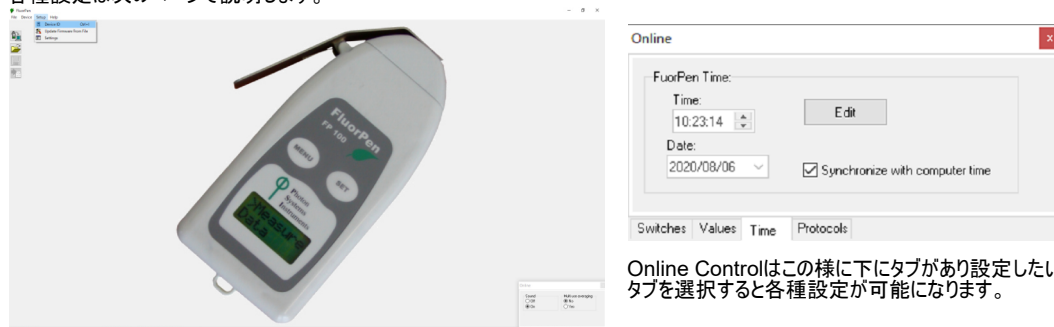
1. ソフトウェアのインストールがすべて完了したのを前提として説明していきます。ソフトウェアのインストールが完了していない場合は必ずインストールをして作業して下さい。本器をPCに接続しFluorPenファイル内の葉っぱのアイコン(アプリケーション)をクリックして下さい。クリックするとこの画面に変わります。Setupを選択しDevice IDを選択します。



2. Device ID選択後にこの画面に切り替わります。選択するとソフトウェア上で本器を認識し設定可能な状態になります。設定可能な状態になりましたら、この画面でDevice→Online Controlを選択します。

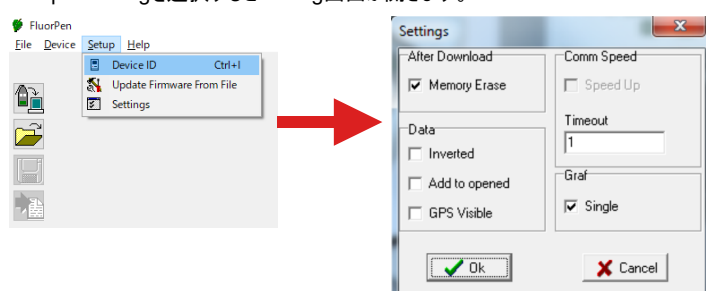


3. Online Controlを選択すると右下に小さな画面が出てきます。この画面で各種設定が可能です。このウィンドウは動かせるので見やすい場所に移動させてください。各種設定は次のページで説明します。



Online Controlはこの様に下にタブがあり設定したいタブを選択すると各種設定が可能です。

- その他の設定。
Setup→Settingを選択するとSetting画面が開きます。



After Download: チェックマークを入れると、データをPCへ取り込むと本器データを消します。

Data: ・Inverted:この機能はメーカーもいまいち解らない機能でチェックマークを入れると、極性が反転します。(計測結果に×-1するみたいです。)

・Add to opened:過去のデータを現在のデータに加えます。

・GPS Visible:過去のバージョンE-FP100シリーズのみ使用可能。

Graf: チェックマークを入れると、すべての測定データが 1 つのグラフにまとめて表示されます。つまり、新しい測定値がそれぞれ追加されていくという事です。



Environmental Measurement Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215

福岡県高美二丁目52番42号

TEL:092-608-6412

FAX:092-985-7844



PCでの各種設定

Time 時計の設定はPCとシンクロさせるためにSynchronize with computer timeにチェックを入れてEditを押せば完了です。

Switches Sound、Multi use averagingの指定が可能です。

•Sound On/Off （ボタン音のOn/Off）

•Multi use averaging: 指定したパラメータでインターバルを決め、繰り返し測定できるモードのOn/off

手動での測定がしたい場合はNoのままにしてください。
Multi use averagingをYesにした場合以下のValuesタブにて設定の変更をします。

Values Multi use averaging では2タイプの設定が可能です。(この設定はPCで作業する方が時短できます。)

1.Multi repeats & Multi Interval:

全てのプロトコル（計測パラメータ）に対応しています。
計測の繰り返し回数と、インターバルを設定します。
設定箇所はMulti repeatsとMulti Intervalです。この時Average.countとdelayは1のままにしておいてください。

2.Average count & Average delay:

FTとLCのみ有効な指定です。また、暗処理下での計測にはお奨めできないモードです。
上記のMulti repeats & Multi Interval設定が前提で、平均値を出していくモードです。

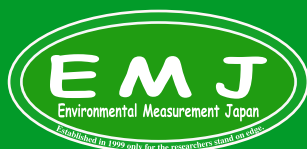
例えば設定内容が下記であれば1分毎の計測結果が10個記録されます。そして各結果は1秒間隔で10回計測した値の平均値です。

- Multi interval 1 min
- Multi repeats10
- Average count 10
- average delay 1 s

注意: Multi typeでプロトコルの設定を忘れないようにお願いします。

全ての設定が終わりましたら本体のMeasurmentを選択し、プロトコルの中のMultiを選択して計測してください。
間違えてvalueで設定したプロトコル、例えばQYを選択するとMulti use averagingが機能しませんので注意して下さい。

Protocols パラメーターを設定選択。



Environmental Measurment Japan

日本環境計測株式会社

〒811-0215
福岡県高美台二丁目52番42号
TEL:092-608-6412
FAX:092-985-7844



OJIP、NPQ、LCデータ観覧

OJIP、NPQ、LCのデータは演算値なので本器ディスプレイでは観覧できません。データをPCにダウンロードして観覧します。

Device→Downloadを選択するとデータ表が表示されます。

① ファイル名
② 計測された日時
③ パラメーター
④ データ保存
⑤ 計測データ
⑥ ユーザーノート
⑦ グラフへ切り替え
⑧ サンプル名 (例: Arabidopsis)

Index	1	2	3	4	5	6
Time	16:33:51 18.4.2018	17:33:56 18.4.2018	18:33:50 18.4.2018	19:01:05 18.4.2018	19:33:50 18.4.2018	20:01:00 18.4.2018
	NPQ1-455	NPQ1-455	NPQ1-455	OJIP-455	NPQ1-455	OJIP-455
Fo	2601	Fo	2795	Fo	2634	Fo
Fm	4617	Fm	4941	Fm	7315	Fm
Fp	3739	Fp	3966	Fp	6242	Fp
Fm_L1	4096	Fm_L1	4356	Fm_L1	4909	Fm_L1
Fm_L2	3902	Fm_L2	4129	Fm_L2	4259	Fm_L2
Fm_L3	3772	Fm_L3	3999	Fm_L3	4031	Fm_L3
Fm_L4	3706	Fm_L4	3967	Fm_L4	4031	Fm_L4
Fm_Lss	3641	Fm_Lss	3902	Fm_Lss	4162	Fm_Lss
NPQ_L1	0.13	NPQ_L1	0.13	NPQ_L1	0.49	NPQ_L1
NPQ_L2	0.18	NPQ_L2	0.20	NPQ_L2	0.72	NPQ_L2
NPQ_L3	0.22	NPQ_L3	0.24	NPQ_L3	0.81	NPQ_L3
NPQ_L4	0.25	NPQ_L4	0.25	NPQ_L4	0.81	NPQ_L4
NPQ_Lss	0.27	NPQ_Lss	0.27	NPQ_Lss	0.76	NPQ_Lss
Qp_L1	0.39	Qp_L1	0.37	Qp_L1	0.23	Qp_L1
Qp_L2	0.44	Qp_L2	0.42	Qp_L2	0.27	Qp_L2
Qp_L3	0.42	Qp_L3	0.42	Qp_L3	0.29	Qp_L3
Qp_L4	0.41	Qp_L4	0.45	Qp_L4	0.29	Qp_L4
Qp_Lss	0.45	Qp_Lss	0.48	Qp_Lss	0.51	Qp_Lss
Rfd	0.21	Rfd	0.21	Rfd	0.78	Rfd
Fm_D1	4422	Fm_D1	4714	Fm_D1	6502	Fm_D1
Fm_D2	4454	Fm_D2	4780	Fm_D2	7055	Fm_D2
Fm_D3	4487	Fm_D3	4779	Fm_D3	7153	Fm_D3
NPQ_D1	0.04	NPQ_D1	0.05	NPQ_D1	0.13	NPQ_D1
NPQ_D2	0.04	NPQ_D2	0.03	NPQ_D2	0.04	NPQ_D2
NPQ_D3	0.03	NPQ_D3	0.03	NPQ_D3	0.02	NPQ_D3
Qp_D1	0.98	Qp_D1	0.96	Qp_D1	0.87	Qp_D1

⑥ Space for written notes
⑦ Switch to graphic visualization of the experiment
⑧ Experiment description

グラフへ切り替える場合は⑦をクリックして下さい。

① 対数での表示
② 観覧したいデータ選択

Selection of data corresponds to their description

① Choose logarithmic or non-logarithmic graph form

②

